

==人物の描き方のポイント==

- ☆ モデルをよく見て描きます。
- ☆ ゆっくりと、つながった線で描きます。
- ☆ 「黒」のクレパスは使いません。

- ・ ゆっくりが大事！
- ・ 少しぐらいゆがんでも気にしない！



次のような順番で描いてみましょう！

- ① 黄色を使って顔全体をぬります。

たまご形、たて長、よこ長、四角っぽいなど、よく見ておおまかな形を決めてぬります。りんかくは描きません。全体をイメージしてぬりましょう。

色はうすくぬることがコツです。

一番上が「頭」になります。紙からはみ出すくらいでちょうどよいです。

顔の後に、「首」、「肩」とぬります。首は太さ、肩は幅に気をつけましょう。

- ② ①でぬった黄色の形の上にはだ色で顔をぬります。

- ③ 茶色かこげ茶色で「目」を描きます。

顔の半分より上に描きます。よく見て、ゆっくり、つなげて描くとよいです。

目玉から描くことがコツです。

- ④ 「鼻」を描きます。

鼻の穴、小鼻の順に描きます。最後に左右の穴をつなげるとよいでしょう。

- ⑤ 「口」を描きます。

まず真ん中の線を描き、その後、上下のくちびるを描きます。

「鼻」や「口」を描いたら、「まゆ毛」も描きます。

まゆ毛は1本1本描くようにします。

- ⑥ 顔の線を描きます。

よく見て、ゆっくりとつながるように描きます。

⑥ ここが一番大事！

- ⑦ 「耳」「首」の線を描きます。

- ⑧ かみの毛を描きます。

はえているところから、1本1本ていねいに描きます。

- ⑨ 服の線を描きます。

- ⑩ 顔の色をぬります。

白やピンクなど、色を重ねていくといい感じに仕上がります。

何度重ねてもよいです。

- ⑪ かみの毛をさらに描きます。

青や緑を描き加えると、黒く見えるようになります。

- ⑫ 最後に、服に色をぬったり、めがねを描いたりします。

⑫ これでおしまい！
いい絵が描けたかな!?

